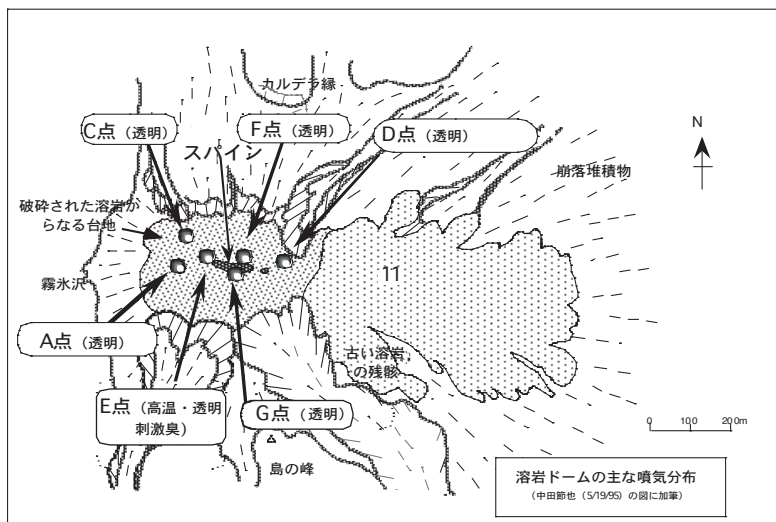
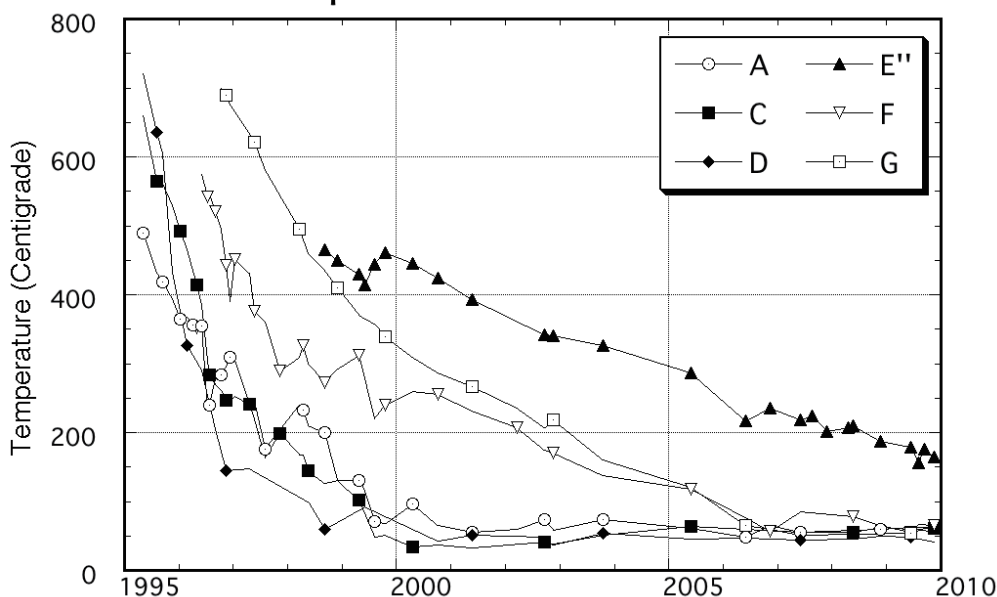


平成新山ドームの噴気ガスの温度変化



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。2008 年秋以降は最高温度が摂氏 200 度を下回っており、2009 年 11 月 18 日測定での最高温度は E 地点の摂氏 165 度であった。
- E 点は活動末期に隆起した尖頂 (Spine) の西側の根元にあり、マグマの湧き出し口 (旧地獄跡火口) の直上にある。以前見られたモリブデン化合物は見られず、現在は硫黄の昇華物のみ肉眼で確認される。
- 青白いガス (主に二酸化硫黄) や刺激臭のガスの量もしだいに減少している。
- E 点における北川式検知管による測定では、CO₂ 2500-2800ppm, SO₂ 8ppm, HCl 90-100ppm であり、H₂S は検出されなかった。

*山下裕亮・池端 慶・松島 健・雑賀 敦・長井大輔・渡邊篤志・清水 洋・松尾紉道